

施策番号	0703		
施策名	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）		
概要	多様化する要望にこたえて、スポーツ施設の柔軟な運営と良質なサービスの提供を行うほか、スポーツを支えるしくみづくりや、スポーツを支える組織の人材確保を進める。		
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室	共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画		

施策の評価

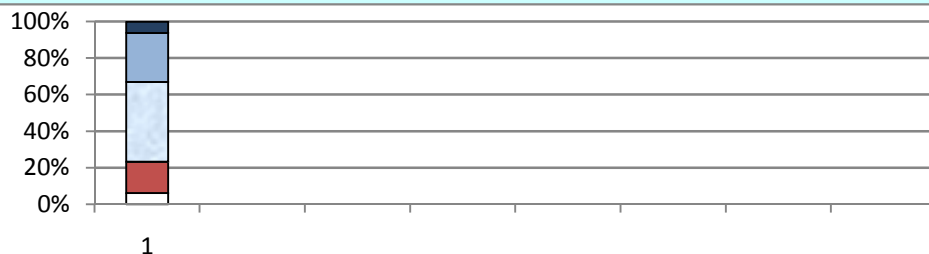
1 客観指標評価

指標名		年度	年度	23年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数(人)	-	-	1,457	1,622	1,734	93.5%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
				客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		23年度回答						有効回答 者数	評価
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない			
1	スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフやボランティアとして支えるひとが増えている。	32 6.1%	141 26.9%	230 43.8%	90 17.1%	32 6.1%	525	c	
2	-								
3	-							-	
4	-								
5	-							-	
		市民生活実感調査総合評価						c	



- そう思う
- どちらかと言おうとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言おうとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						年度	-
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	c			
(重み付けの理由) スポーツ活動の支え合いが身近に感じられることが重要であるため、市民の実感を重視する。							年度	-
(原因分析) ・客観指標については、京都ソーデーウォーク2011のボランティアスタッフや市主催のスポーツ大会の運営に関わる体育指導委員の人数が前年度と比較して増加したが、目標値は平成32年度までの約10年間で3倍増をめざす京都市市民スポーツ振興計画に基づき高めに設定しているため、b評価となった。 ・市民生活実感評価では、「どちらとも言えない」が40%以上と多くなっていることから、スポーツを支える活動を認知してもらう取組の必要性がうかがえる。							年度	-

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	体育指導委員	21,546	25,078	良い	文化市民局
2	市民スポーツフェスティバル	18,247	18,318	かなり良い	文化市民局
3	全京都大学野球トーナメント大会	2,942	3,880	良い	文化市民局
4	体育振興会事業助成	19,622	19,679	良い	文化市民局
5	国体派遣補助	2,402	1,935	かなり良い	文化市民局
6	京都市体育協会運営補助	32,999	27,100	-	文化市民局
7	京都ソーデーウォーク	9,209	-	かなり良い	文化市民局
8	京都マラソン	0	319,066	-	文化市民局
9	京都マラソン開催準備調査	60,841	-	-	文化市民局
10	次期市民スポーツ振興計画の策定	5,507	-	-	文化市民局
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・ボランティアの協力を得ての京都マラソン2012開催

施策名	0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）				
指標名	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数(人)					
担当課	スポーツ振興課		連絡先	3 6 6 - 0 1 6 9		
1 指標の説明						
市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数						
2 指標の意味						
市主催のスポーツ事業において市民の間でスポーツ活動を支え合う動きが活発化する状況を示す指標(支えるスポーツ)						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	21年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	1,457	1,622	165人増	1,734	21年度現況値(1457人)と32年度目標値(4500人以上)から各年度の目標を等差的に算出	93.5%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		4500人以上	32年度		現況値(1457人)の3倍以上となるように設定	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a:100.0%以上 b:90%以上～100%未満 c:80%以上～90%未満 d:70%以上～80%未満 e:70%未満						
6 基準説明						
当該指標については、目標値以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
						23
	-		-			b